

2019 年 8 月吉日

## 2019 年度 日本神経生理検査研究会 通常総会開催のご案内

日本神経生理検査研究会 会長 高橋 修

ご挨拶

会員の皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

各支部での活動は、幹事の皆様による研修会開催および会員の皆様による積極的な参加によって盛況となり、最近ではそのことが反映したと思われる入会問い合わせが頻繁に見られ、大変嬉しく思っております。

さて、本研究会は平成 7 年に第 1 回目の研修会を千葉県で開催し、その後、組織編成を行い、22 年の歳月を経て会員数が 600 名を超えるまでに成長いたしました。これも各支部を運営している支部幹事および会員の皆様が神経生理検査を愛し、技術を極めることと、当会の大きな目的の 1 つである会員間の交流を地道に行ってきた結果であると考えております。

また、当会の活動は日本臨床神経生理学会に認められ、現在では理事 1 名、代議員 15 名が在籍しており、代議員以外でも各委員会委員として登録されて活躍しております。また、今年度は臨床神経生理学会が新規の制度としてスタートする「術中脳脊髄モニタリング分野認定医・認定技術師制度」において、その確立に貢献することを期待されています。

臨床衛生検査技師会では、各技師会活動への貢献と、多くの会員が発表などで学術活動に参加し、さらには精度管理事業や全国研修会等で年間を通して活躍されていることは、誇りに感じている次第であります。

さて、当会での平成 30 年度の事業は、7 支部開催を終えたこともあり、全国研修会を行わず、会計予算を各支部での活動に対して支部研修会開催支援金として配布いたしました。そして例年通りに各支部では研修会が行われ、内容の充実した講義や実技研修、そして多くの人的交流と情報交換が行われ、大盛況のうちに終了したとの報告を受けており、ご参加いただいた会員の皆様には心より感謝申し上げます。

また、情報交換および交流をアップさせるメーリングリストも大きなトラブルもなく順調に配布され、これからも多くの手段を用いて可能な限り、皆様のお役に立てる情報を提供・共有して行きたいと考えております。

さて、今回の総会における大きな議案は、執行部として数年前より議題となっていた当会の今後における永続と躍進のための世代交代につきまして、今年度より着手することにしたと考えております。そして、会運営および活動のさらなる活性化を図るため 会則の一部である第 4 章 役員 の 項 の 改 正 を本総会で提案して審議をお願いしたいと存じます。

私事ではありますが、23 年の長きに渡り、会長職として当会に関わって来られたこと、そして、多くの方々と触れ合えたことは、人生のうちで最も誇りに思っております。今後は新体制が認められた際に微力ではありますが、当会の発展を見守りながら、これまで支えてきていただいた会員の皆様と違った面で交流し、恩返しをして参りたいと思っております。

元号が令和となって初めての総会は、例年通りの「電子総会」を行う予定であり、議案書案をご覧になっていただいた上で、当会のさらなる発展のために皆様のご意見およびご指摘などをいただきたく存じます。

令和元年の総会議案書を作成するに当たり、執行部役員および評議員会にて討議を尽くしましたこと、これまで誠心誠意努力して参りましたことをご報告させていただくとともに、定期総会の開催を宣言させていただきます。

なお、定期総会の開催期間が遅れたことをご詫言申し上げますとともに、短い期間で誠に恐縮ですが、何卒ご容赦下さるようよろしくお願い申し上げます。

開催期間は 8 月 27 日から 9 月 10 日までの 15 日間とし、総会の議長には片山副会長を指名させていただきます。

今後も執行部一同、全力を上げて当会の発展のために努力して参る所存でございますが、会員の皆様にも一層盛り上げていただけますようお願い申し上げます、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

## 2019 年度日本神経生理検査研究会 通常総会(電子会議方式) 式次第

- 1) 議長選出
- 2) 議案の提案と審議検討 (会期:2019 年8月27日～2019 年9月 10日) 15 日間
  - (1) 1 号議案  
2018 年度事業報告、収支決算、監査報告(2018.4.1-2019.3.31)
  - (2) 2 号議案  
2019 年度事業計画案、予算案 (2019.4.1-2020.3.31)
  - (3) 3号議案  
会則一部改正について(第4章役員の方、第10条、第 14 条)
  - (4) 4号議案  
2019 年度年役員信任案
- 3) 審議と採択(当会ホームページより投票):議案一括採択方式とする  
会則第 5 章 18 条『総会成立は、会員数の 1/10 の投票参加で成立とし、可否は投票数の過半数で決す』
- 4) 採択結果報告(ホームページにて中間報告と最終報告)

**投票用紙**→<https://forms.gle/qeFDtyQgJNKDuQo99>

**【註】平成から令和への元号変更に伴い本会の年度表示はすべて「西暦」表示とした**

### 1号議案

#### 2018 年度事業報告及び収支決算 (2018.4.1-2019.3.31)

##### 【I 事業報告】

###### 1) 評議委員会の開催

- ・2018 年度通常総会開催に先立ち、議案書(案)の審議を(2018.12.28-2019.1.11)に開催した。
- ・提出した議案書について誤植・追加訂正などの指摘があり修正を行った。

###### 2) 2018 年度通常総会を電子会議形式にて開催 (2019.1.18-2019.1.31、16 日間)

期間中会員数推移:2018 年度年会費納付会員 416 名

総会参加・投票の結果は、投票総数 185 票であり、承認=185 票、反対=0 票であり会則第 5 章 18 条に則り、本年度議案書(案)は承認された。

なお、支部と投票数は、北海道 20、東北 30、関東甲 35、中部 34、近畿 31、中国四国 13、九州 22 であった。

最終投票支部別結果をホームページにて広報した(2019.2.7)。

###### 3) 執行部会の開催(2019.、WEB 会議にて) 出席者:高橋、片山、三浦、石郷、瀬川、水野

##### 【II. 2018年度決算報告】

2018年度収支決算書(2018. 4. 1~2019. 3. 31)

会員数 615名(当年度会費納入421名) 単位(円)

収入の部	予算	決算	決算明細
1. 会費	600,000	507,000	年会費、入会金合計 (複数年度納入があるため会員数の乗算ではない) 内訳: 2016年 年会費¥500×4名 2017年 年会費¥500×84名 入会金¥1000×30名 2018年 年会費¥1000×416名 入会金¥1000×17名
2. 事業収入	0	0	H30年度全国研修会は休止のため
3. 雑収入	10	12	利子
小計	600,010	507,012	
4. 前年度繰越金	875,098	875,098	
合計	1,475,108	1,382,110	

支出の部	予算	決算	
1. 事業費	785,000	668,000	
全国研修会積立金	200,000	200,000	特別会計として別途計上
表彰	10,000	10,000	
支部研修会支援金	350,000	250,000	関東甲信越・中部を除く5支部に各5万を拠出
支部活動補助金	225,000	208,000	¥500×416名
2. 事務費	58,000	19,381	
会議費	10,000	0	
通信費	6,000	6,000	¥1000×6
執行部行動費	12,000	12,000	¥2000×6
消耗品費	10,000	0	
案内通信費	10,000	1,042	
予備費	10,000	339	振込手数料
小計	843,000	687,381	
3. 次年度繰越金	632,108	694,729	
合計	1,475,108	1,382,110	

《特別会計》 全国研修会積立金

	摘要	収入	支出
前年度繰越金		0	0
積立金	H30年度	200,000	0
受け取り利子		0	0
合計		200,000	

[Ⅲ. 学術活動]

1. 全国主催

開催せず

2. 支部主催

1) 北海道支部

(1) 2018.10.13-14: 第66回北海道支部勉強会、第22回宿泊研修セミナー、場 所 国民宿舎 新嵐山荘

テーマ「脳機能検査の最前線～脳波検査におけるこれから の検査技師の関わり方～」

講演1 『脳機能検査で何を見/魅せられるか』 講師 嶋原 良仁 医師(北斗病院 精密医療センター長)

講演2 『ここまで来たかAI・検査技師はどう向き合っていくのか』 講師谷中 弘一技師(獨協医科大学病院 臨床検査センター)

ナイトセミナーⅠ 『実技講習会』(神経伝導検査、誘発電位、脳波判読、頸動脈エコー、聴力検査、術中モニタリング)

ナイトセミナーⅡ 『症例検討会』 ナイトセミナーⅢ 『自由実習』

講演3 『技師会活動と認定試験について』講師 谷中 弘一 技師(獨協医科大学病院 臨床検査センター)

(2) 2019.3.2:第67回北海道支部勉強会、会場:北海道大学学術交流会館第一会議室

テーマ「実践、脳波! ～てんかんの検査・診断・治療～」

講演1:臨床検査技師の立場から「打倒!アーチファクト」 札幌禎心会病院 臨床検査部 藤部 綾子 技師

講演2:神経内科医の立場から「てんかん診断の極意を伝授」 中村記念病院 神経内科 部長 溝淵 雅広 先生

講演3:脳神経外科医の立場から「難治性てんかんの外科的治療」 熊谷総合病院 名誉院長 森野 道晴 先生

## 2) 東北支部

(1) 2018.6.17:第7回 東北支部研修会、会場: 東北大学医学部保健学科1F 大講義室

症例提示Ⅰ:「術中モニタリング」佐々木 寛人 先生(竹田総合病院)

症例提示Ⅱ:「末梢神経伝導検査」相原 理恵子 先生(太田西ノ内病院)高橋 広大 先生(岩手医科大学附属病院)

脳波計ハンズオン:「脳波計のルーチン検査に役立つQ&A」 日本光電株式会社

## 3) 関東甲信越支部

(1)2018.9.30 :第31回 関東甲信越支部勉強会、会場:日本光電フェニックスアカデミー

テーマ:「実技講習会 基礎の再認識」

1. 講義「神経伝導検査の基礎」 田中 理技師(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)

2. 実技実習 ①～⑩から4つ (20分/1人程度)

① Median NのMCS、SCS、F-wave② Ulnar NのMCS、SCS③ Peroneal のMCS、SCS④ Tibial NのMCS、F-wave、Sural N のSCS⑤ 手根管症候群診断検査(2L-INT、Ring-finger method⑥ 肘部管症候群診断検査(Ulnar NのMCS-inching・SCS-inching)⑦ Radial NのMCS、SCS⑧ LAC、MACのSCS⑨ Superficial Peroneal N、Saphenous NのSCS⑩ ENoG& Blink Reflex

(2)2019.3.10 :第32回 関東甲信越支部勉強会、会場:日本光電フェニックスアカデミー

テーマ:「匠からの伝承」

1. 教えてホッシー part4 ～手根管症候群の検査～講師:星野哲技師(帝京大学医学部附属病院)

2. 患者さんの症状から検査を考える(下肢編) 講師:齋藤江美子技師(丘整形外科病院)

3. 脳波を読む(賦活法) 講師:杉山邦男技師(東邦大学医療センター大森病院)

## 4) 中部支部

(1)2018.11.23:第30回中部支部研修会のご案内、会場:三重県総合文化センター・レセプションルーム(学会第5会場)

「好きになります!神経伝導検査」:高橋 修技師(慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

「顔面神経麻痺の電気生理学的検査～ハンズオンを含めて～」久富 一毅技師(名古屋市立大学病院 診療技術部)

「症例提示～脳波検査が有用であった症例を一緒に学ぼう～」:渡邊 孝康技師(三重大学医学部附属病院中央検査部)

特別講演「精神科における脳波・誘発電位 ～これまでとこれから～」元村 英史医師(三重大学医学部附属病院精神科神経科)

(2)2019.4.6: 第31回中部支部研修会、会場:名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟11階講義室

症例提示「てんかん診療と検査技師の関わり～脳波検査を中心に～」 榊原 久美子 技師(名古屋大学医学部附属病院)

講演 「術中モニタリング:ピットフォールとトラブルシューティングを中心に」板倉 毅 先生(関西医科大学総合医療センター 整形外科)

特別講演 「私は神経伝導検査をこのように行っています」 長谷川 修 先生(横浜市立大学名誉教授)

## 5) 近畿支部

(1)2019.3.9:第7回近畿支部研修会、会場:神戸市立医療センター中央市民病院

テーマ「ここからはじまる神経伝導検査 ～臨床医の思いに添えて～」

講義1「神経伝導検査と臨床医の想い」(神戸市立医療センター中央市民病院神経内科) 三村直哉先生

講義2「会長講演」 (日本神経生理検査研究会会長) 高橋修先生

症例検討 (神戸市立医療センター中央市民病院神経内科) 幸原伸夫先生

ハンズオン直前講習 (神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査) 菅原雅史先生

NCSハンズオン (1班8名、5班) text

## 6) 中国四国支部

(1) 2018.8.25-26: 第8回中国四国支部研修会、会場:徳島大学蔵本キャンパス 徳島大学病院外来棟 5F 日亜ホール

イントロレクチャー (神経伝導検査1&2 神経・筋エコー)

特別講習「電気診断の考え方」 アイオワ大学名誉教授/京都大学名誉教授 木村 淳 先生

症例検討1、2

講義 「顔面神経ENoG」 香川県立保健医療大学 和田晋一先生

講義 「電気生理診断」 徳島大学神経内科 野寺 裕之先生

合同ハンズオン1 選択制 (神経伝導検査1・2、反復刺激、顔面神経、神経・筋エコー)

合同ハンズオン2 選択制 (神経伝導検査1・2、反復刺激、顔面神経、神経・筋エコー)

## 7)九州沖縄支部

(1) 第2回九州沖縄支部実技講習会、会場:九州大学病院 共用会議室1 および脳波検査室

ハンズオン1:脳波電極装着

ハンズオン2:アーティファクトと賦活法について

1と2の復習または検査所見の書き方

講師:酒田あゆみ先生、渡邊恵利子先生、板倉朋子先生 (いずれも九大病院検査部)

## 3. その他事業

- 1) 支部研修会支援金を申請があった5支部(北海道、東北、近畿、中四国、九州沖縄)に対して予算通り5万円を実行した。
- 2) 全国研修会積立金は、予算通り20万を特別会計で定期預金とした。

## 【 IV. 2018年度 監査報告 】

### [監査報告書]

2019年 7月 22日

日本神経生理検査研究会

会長 高橋 修 殿

2018年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

会計監査 水野久美子 (印)

### 記

1. 会務について、事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
2. 会計について、会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

## 2号議案

### 2019年度事業計画案および予算案(2019. 4. 1~2020. 3. 31)

#### 【 I. 事業計画 】

##### 1. 組織、運営に関すること

- 1) 会員が神経生理検査の質向上に寄与し、社会に広く認知されるように本会の組織のさらなる活性化および人材育成を行っていく。同時に次期幹部役員の発掘・指名・育成を念頭に根回し活動を行う。
- 2) 会員の情報交換の場として活用されているメーリングリストの適切な運営と、さらなる充実を図る。
- 3) 年1回の総会を電子総会として開催する。
- 4) 執行部役員の交代について

20年余の長期に渡り本会会長を務めた高橋修氏は勇退し、今年度から石郷景子氏を会長に、副会長は

石郷景子氏から佐々木一朗氏へ、また会計を三浦祥子氏から谷中弘一氏へとの交代案も提案しました。

詳細は4号議案を参照されたい。

なお、任期については、3年間(重任は妨げない)と会則に規定されているが、経年により開始と終了年が

不明確になっていたもので、これを明確にする目的で今年度を開始年とした。

同時に、今後の会活動を円滑に行うために会則改正を第3号議案として提案しました。

#### 5) 全国研修会開催および開催方式について

昨年度総会にて全国研修会開催について会員より意見募集を行った。その結果を踏まえて執行部でさらに検討し、今年度は全国研修会を開催するとした。

また、その開催方式は支部主導で行い執行部は後方支援で助勢し運営責任を担う。

支部主導開催方式とは下記の要項を含むものです

- ①プログラムや企画は担当支部で立案する。執行部は求められればアドバイスする。
- ②参加費はすべて支部収入とする。
- ③受付や会場設営は支部メンバーで行う。
- ④広報や参加申込などの取り扱いは執行部と共同にて行う
- ⑤支度金として本部より開催支部へ返却不要で20万を拠出する

6) 昨年度実施した各支部への研修会開催支援金および全国研修会積立金について、今年度は予算計上しない。

#### 2. 学術関連における他団体との連携に関すること。

1) 日本臨床衛生検査技師会や日本臨床神経生理学会とは、認定制度や生涯教育における従来の交流を継続するとともに、新しい制度や検査項目などの情報収集と広報活動を推進する。

2) 専門学会との交流は、臨床検査技師が関わる日本臨床神経生理学会を中心とするが、神経学会や末梢神経学会などの学術団体などの交流も視野に入れて、研究会の充実と会員の利便性を図る。

4) 日本臨床神経生理学会が主催する、神経筋診断セミナー、術中脳脊髄モニタリング委員会やセミナー、脳波セミナー・アドバンスコース委員会やセミナーなどの専門技術交流が図れる団体等とは積極的に参画し、また情報交換を図り、会員の技術育成に関与する。

#### 3. 表彰事業に関すること。

会員のモチベーションの上昇を考慮し、表彰制度を推進する。

対象とする論文は、前年度に発表された論文について表彰委員が吟味し推薦する。

## 【 II. 学術活動 】

### 1. 全国主催

第23回全国研修会を開催する

期日：2020.3予定 後日ホームページおよびメーリングリストで広報する

会場：未定

### 2. 支部主催

#### 1) 北海道支部

(1) 2019.9.14-15：第68回北海道支部勉強会&第23回宿泊研修セミナー、会場：比布町 遊湯びっぶ

テーマ「術中モニタリング」

(2) 2020.2月か3月頃：第69回北海道支部勉強会 予定

#### 2) 東北支部

(1) 2019.9.7：第8回東北支部研修会 会場：坂総合病院 2階 セミナールーム

#### 3) 関東甲信越支部

(1) 2019.10.6：第33回関東甲信越支部勉強会、会場：日本光電フェニックスアカデミー

テーマ「職場での脳・神経生理検査の技術維持の在り方を考えてみよう！」

(2) 2020.2予定：第34回 関東甲信越支部勉強会、会場：日本光電フェニックスアカデミー予定

テーマ：「未定」

#### 4) 中部支部

(1) 2019.9.28：第32回中部支部勉強会、会場：名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟11階講義室A

(2) 2020.3もしくは4月：第33回中部支部勉強会

#### 5) 近畿支部

(1)2020.2月か3月： 第8回近畿研修会、会場：未定

6) 中国・四国支部

(1)2019.4.21： 広島北部神経筋セミナー(中四国支部共催)、会場：三次神経内科クリニック花の里

(2)2019.8.31：臨床検査技師向けてんかんセミナー(中四国支部共催)、会場：TKPガーデンシティ

7) 九州沖縄支部

(1)2020.3月の2日間予定： 第3回九州沖縄支部実技講習会、場所：福岡もしくは熊本予定

【Ⅲ. 会員表彰】

該当者なし

【Ⅱ. 2019年度予算計画書】

2019年度収支予算書(案) (2019. 4. 1～2020. 3. 31) 会員数 616名(未納会員 204名含む) 単位(円)

収入の部	前年度決算	予算	概要
1、会費	507,000	600,000	年会費、入会金合計(複数年度会費納入も含む)
2、雑収入	12	10	利子
小計	507,012	600,010	
3. 前年度繰越金	875,098	694,729	
合計	1,382,110	1,294,739	
支出の部	前年度決算	予算	
1、事業費	668,000	615,000	
23th全国研修会拠出金	0	200,000	開催支部への支度金
執行部派遣諸費		200,000	
全国研修会積立金	200,000	0	
表彰	10,000	10,000	
支部研修会支援金	250,000	0	
支部活動補助金	208,000	205,000	¥500×410名
2. 事務費	19,381	58,000	
会議費	0	10,000	
通信費	6,000	6,000	¥1000×6
執行部行動費	12,000	12,000	¥2000×6
消耗品費	0	10,000	
案内通信費	1,042	10,000	
予備費	339	10,000	振込手数料等
小計	687,381	673,000	
3. 次年度繰越金	694,729	621,739	
合計	1,382,110	1,294,739	

### 3号議案 役員、役職に関する会則改正について

提案要旨:当会の永続、躍進のために、かねてより課題となっておりました世代交代につきまして今年度より着手することと致しました。併せて会の運営、活動のさらなる活性化と充実を図るために、役員的位置づけを定義する会則の一部(第4章役員の章、第10条、第14条)の改正も急務であり、本総会で提案し審議をお願いしたいと考えます。

第4章 役員 (役員)		
改正前	改正後 (変更点/新設、“-”は変更なし)	付記
第10条		
1) 本会は次の役員を置く。	-	変更なし
会長 1名	-	変更なし
副会長 2名	若干名	変更あり
事務局長 1名	事務局長 1名および事務局員 若干名	変更あり
会計 1名	-	変更なし
支部長(各支部) 若干名	-	変更なし
評議員 若干名	-	変更なし
監査 若干名	-	変更なし
	顧問 若干名	新設
	2) 会長は執行部会にて協議し評議員会の審議検討後、総会にて信任されること	新設
2) 会長は副会長, 事務局長, 会計を任命する。	3) 会長は副会長, 事務局長, <u>事務局員</u> , 会計を任命する。	変更あり
3) 執行部役員は, 会長, 副会長, 事務局長, 会計とし, 本会の会務を分担し執行する。	4) 執行部役員は, 会長, 副会長, 事務局長, <u>事務局員</u> , 会計とし, 本会の会務を分担し執行する。	変更あり
	5) 監査および顧問は会長が任命し, 執行部会にオブザーバーとして参加し議決権はないが情報や意見を述べることができる。	新設
第14条 (役員任期)		
1) 役員任期は3年とする。但し, 重任を妨げない。	1) 役員任期は3年とする。但し, 重任や <u>再任</u> を妨げない。また <u>重任は2期までとする</u>	変更あり



## 4号議案 2019年度年役員信任案

日本神経生理検査研究会役員案（下線は今年度より新役員）

### 1. 執行部役員

会長 石郷 景子（大垣市民病院）  
副会長 片山 雅史（国際医療福祉大学）  
副会長 佐々木 一郎（神戸市立医療センター中央市民病院）  
事務局長 瀬川 義朗（自宅）  
会計 谷中 弘一（獨協医科大学病院）

### 2. 支部代表者(支部長)

北海道支部 山本 雅史（北海道大学病院）  
東北支部 赤塚 れい子（山形県立河北病院）  
関東甲信越支部 河島 江美（北里大学病院）  
中部支部 山本 貴子（可児とうのう病院）  
近畿支部 松下 隆史（神戸市立医療センター中央市民病院）  
中国・四国支部 高松 直子（徳島大学病院）  
九州沖縄支部 八木 和広（潤和会記念病院）

### 3. 評議員会(順不同・敬称略・執行部役員および支部長)

石郷 景子（大垣市民病院）  
片山 雅史（国際医療福祉大学）  
瀬川 義朗（自宅）  
佐々木 一郎（神戸市立医療センター中央市民病院）  
谷中 弘一（獨協医科大学病院）  
山本 雅史（北海道大学病院）  
赤塚 れい子（山形県立河北病院）  
河島 江美（北里大学病院）  
山本 貴子（可児とうのう病院）  
松下 隆史（神戸市立医療センター中央市民病院）  
高松 直子（徳島大学病院）  
八木 和広（潤和会記念病院）

### 4. 監査

三浦 祥子（仙台厚生病院）

### 5. 顧問

高橋 修（済生会東神奈川リハビリテーション病院）  
水野 久美子（名古屋市立大学）

### 6. インターネット運営委員および事務局委員

瀬川 義朗（自宅）  
佐々木 一郎 副会長兼務

### 7. 表彰推薦委員（順不同・敬称略）

片山 雅史（国際医療福祉大学）  
丸田 雄一（山口大学）